

即興スピーキング!

学校  
専売品



興味のもてる  
題材で  
飽きずに  
活動できる

教材の使用法

▶ 授業で使用

「コミュニケーション英語Ⅰ」の授業で1～2週間に1回、ALTとのチームティーチングにおいて使用

テストの実施方法

- ① 中間・期末考査で、ALTがリスニングテストを作成
- ② 学期に1回ALTによるインタビューテスト  
(共にテキストに関連した問題)

兵庫県立北須磨高等学校 大井正義先生



英語を話すことへの抵抗感がなくなってきた

スピーキング力を強化するために『即興スピーキング!』を採用しました。本書は頭の中で会話を組み立てるクイックレスポンスを前提とした、アクティビティ中心の実践的な教材です。採用特典として頂いた、“Teacher’s Manual”もとても助かりました。

授業では、扱う内容に応じてアクティビティを変えるよう心掛けました。さらに、アクティビティをより活発なものとするため、毎時間の最初にCAN-DOリストの説明を行いました。これにより、アクティビティの目的や効果を、生徒に

意識させることができます。その後は、生徒にとって身近なトピックを取り上げたペアワーク→テキストの説明→ALTとJTEによるモデルアクティビティ→個人(全体)での音読→ペアワーク→プレゼンテーションという流れで進みます。最後に自己評価とパートナーによる評価を行い、1時間の振り返りとなりました。

こうした活動を繰り返すことで、生徒たちは「英語を話す」ことに抵抗がなくなってきたように感じます。今後は他の授業でも、アウトプット活動を行ってみたいのです。